

## 1. 総論

【総括判断】「管内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
総括判断	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡

(注) 令和3年1月判断は、前回2年10月判断以降、3年1月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

## (判断の要点)

個人消費は、ドラッグストア販売、ホームセンター販売が順調となっており、家電大型専門店販売は緩やかに回復しつつある。また、百貨店・スーパー販売が緩やかに持ち直しつつあるなど、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は、電子部品・デバイスが持ち直しており、化学が拡大しているほか、生産用機械、金属製品が下げ止まっていることなどから、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている。

## 【各項目の判断】

項目	前回（2年10月判断）	今回（3年1月判断）	前回比較
----	-------------	------------	------

個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡
生産活動	下げ止まっている	緩やかに持ち直しつつある	➡
雇用情勢	新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている	➡

設備投資	2年度は減少見込みとなっている	2年度は減少見込みとなっている	➡
企業収益	2年度は減益見込みとなっている	2年度は減益見込みとなっている	➡
住宅建設	弱い動きとなっている	弱い動きとなっている	➡

## 【先行き】

先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、各種政策の効果もあって、厳しい状況から持ち直しに向かうことが期待される。ただし、感染症拡大による社会経済活動への影響が地域経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある」

百貨店・スーパー販売は、百貨店では衣料品の動きが鈍いものの、高額品に動きがみられることなどから前年を上回っている。スーパーでは飲食料品に動きがみられることから、前年を上回っている。以上のような状況を踏まえると、緩やかに持ち直しつつある。コンビニエンスストア販売は、米飯類等の動きが鈍いことなどから、低調となっている。ドラッグストア販売は、飲食料品等に動きがみられることに加え、新規出店効果がみられることなどから、順調となっている。ホームセンター販売は、DIY用品や暖房器具等に動きがみられることから、順調となっている。家電大型専門店販売は、テレビや暖房器具等に動きがみられることから、緩やかに回復しつつある。新車販売台数は、普通乗用車、小型乗用車、軽乗用車ともに前年を上回っており、持ち直しつつある。主要観光地の入込客数及び主要温泉地の宿泊客数は、前年を大幅に下回っている。旅行取扱実績は、国内旅行、海外旅行ともに厳しい状況が続いている。以上のことから、個人消費については、新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。

(主なヒアリング結果)

- 宝飾品や美術品など高額品の売れ行きが良く、旅行を控えて浮いたお金の使い道になっている。足下では、感染者数が増加している影響で外出自粛ムードが高まっており、来店客数が減少している。(百貨店)
- 感染者数の増加から内食需要が高まっており、鍋の食材やレトルト食品がよく売れている。(スーパー、大企業)
- 外出を控える傾向から来店客数が減少しており、米飯類の動きが鈍い。(コンビニエンスストア、大企業)
- 感染症対策として、引き続き衛生用品が売れているほか、足下では雪が降ったことにより除雪用品がよく売れている。(ホームセンター、大企業)
- 気温が低くなっていることからエアコンの売れ行きが良い。(家電大型専門店、中堅企業)
- 新車効果が見られ、受注・登録状況は回復傾向にある。(自動車販売店、中小企業)
- 12月以降、予約のキャンセルが続いている。足下では新規予約もほとんど無く、再度の休館を予定している。(宿泊業、中小企業)
- 観光客の減少や忘新年会の需要がなくなり、売上が落ち込んでいる。(飲食サービス、大企業)

### ■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

電子部品・デバイス、スマートフォン向け等を中心に持ち直している。化学は、大宗を占める医薬品が、後発医薬品を中心に拡大している。生産用機械は、金属加工機械を中心に下げ止まっている。金属製品は、大宗を占めるアルミ建材で、住宅用を中心に下げ止まっている。繊維は、衣料向けは弱含んでいるものの、非衣料向けは持ち直しつつあることから、全体では下げ止まりつつある。以上のことから、生産活動については、緩やかに持ち直しつつある。

- スマートフォン向けの受注が旺盛で、生産水準もかなり高い。(電子部品・デバイス、中堅企業)
- ファッション向けは引き続き厳しい状態が続いているが、非衣料向けでは、カーシート用が前年並みに近い水準に回復している。(繊維、業界団体)
- リフォーム需要の高まりにより、住宅用建材が回復している。(金属製品、大企業)

### ■ 雇用情勢 「一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている」

有効求人倍率はこのところ上昇している。また、新規求人数、新規求職者数ともに前年を下回っている。雇用保険受給者実人員は前年を上回っている。以上のことなどから、雇用情勢は、一部に底堅さがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、弱い動きとなっている。

- 派遣需要について、11月から足下にかけて前年を上回る需要にまで回復。自動車メーカーの生産が高水準となっており、その取引先である部品・産業機械メーカーへの派遣需要も高水準となっている。(職業紹介・労働者派遣業、中小企業)
- 宿泊応援事業の効果もあって、人員が適正水準に戻りつつあり、パートを募集している旅館もあった。(観光協会)
- 有効求人倍率が一端底を打ったが、先行きの不透明感は大きく、一進一退といった状況。(労働局)

- **設備投資** 「2年度は減少見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期
    - 製造業では、化学工業などが増加となるものの、その他製造、情報通信機械器具などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。
    - 非製造業では、金融、保険などが増加となるものの、小売、不動産などが減少となることから、全体では減少見込みとなっている。
- 昨年度に実施した新工場建設の反動減などにより減少見込み。(その他製造、大企業)
  - 昨年度に実施した食品加工・物流拠点整備の反動減などにより減少見込み。(小売、中堅企業)
  - 昨年度に実施した管理物件改装の反動減などにより減少見込み。(不動産、中堅企業)
- **企業収益** 「2年度は減益見込みとなっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期
    - 製造業では、化学工業などが増益となるものの、生産用機械器具、その他製造などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
    - 非製造業では、学術研究、専門・技術サービスなどが増益となるものの、運輸、郵便、建設などが減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
  - **企業の景況感** 「『上昇』超となっている」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」2年10-12月期
    - 企業の景況判断BSIは、製造業、非製造業ともに「上昇」超となっている。なお、先行きは、全産業では3年1-3月期は「下降」超となる見通しとなっているものの、3年4-6月期は「上昇」超となる見通しとなっている。
  - **住宅建設** 「弱い動きとなっている」
    - 新設住宅着工戸数で見ると、弱い動きとなっている。
  - **公共事業** 「前年を下回っている」
    - 前払金保証請負金額で見ると、前年を下回っている。
  - **金融機関の貸出金** 「前年を上回っている」
    - 金融機関の貸出金は、前年を上回っている。
  - **企業倒産** 「前年を下回っている」
    - 件数、負債総額ともに前年を下回っている。
  - **消費者物価(金沢市、生鮮食品を除く総合)** 「前年を下回っている」
    - 消費者物価指数で見ると、前年を下回っている。

### 3. 各県の総括判断

	前回(2年10月判断)	今回(3年1月判断)	前回比較	総括判断の要点
石川県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は下げ止まっている。また、雇用情勢は一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている。
富山県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	個人消費は新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況にあるなか、一部に足踏みがみられるものの、緩やかに持ち直しつつある。生産活動は持ち直しつつある。また、雇用情勢は一部に下げ止まりの兆しがみられるものの、弱い動きとなっている。
福井県	新型コロナウイルス感染症の影響により、厳しい状況が続いているものの、一部では緩やかに持ち直しつつある	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部では厳しい状況が続いているものの、緩やかに持ち直しつつある	➡	新型コロナウイルス感染症の影響により、一部では厳しい状況が続いているものの、個人消費は緩やかに持ち直しつつあるほか、生産活動は持ち直しつつある。また、雇用情勢は一部に底堅さがみられるものの、弱い動きとなっている。